

会 議 録

| | | |
|-------|--|---|
| 会議の名称 | 第3回 近鉄郡山駅周辺地区整備検討委員会 | |
| 開催日時 | 令和6年2月20日（火）10時～11時00分 | |
| 開催場所 | 大和郡山市役所4階 大会議室 | |
| 事務局 | 大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課 まちづくり協定推進室 | |
| 出席者 | 委員 | <p>【学識経験者】近畿大学 ※会長 大阪公立大学大学院</p> <p>【地元関係団体】大和郡山市自治連合会 ※副会長 大和郡山市商工会 郡山柳町商店街協同組合 大和郡山市観光協会</p> <p>【議会】大和郡山市議会</p> <p>【関係事業者】近畿日本鉄道株式会社 ※代理 奈良交通株式会社 大和郡山市社会福祉協議会 株式会社日本アシスト 奈良信用金庫</p> <p>【行政機関】奈良県地域デザイン推進局まちづくり連携推進課 ※代理 奈良県郡山土木事務所 大和郡山市産業振興部 大和郡山市都市建設部</p> |
| | 事務局 | まちづくり戦略課 まちづくり協定推進室 |
| 欠席委員 | 郡山女性ネットワーク 近畿日本鉄道株式会社 奈良県地域デザイン推進局まちづくり課 奈良県 郡山警察署 大和郡山市 総務部 | |
| 議 事 | 1. 近鉄郡山駅周辺地区整備事業について <ul style="list-style-type: none"> ① 近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画の更新について ② 近鉄郡山駅周辺地区の都市計画決定の検討案について ③ 来年度実施予定業務について 2. その他 | |

2 議事

1. 近鉄郡山駅周辺地区整備事業について

・事務局からの説明（資料）

会長)

3点あるが、1番目のところは我々の計画の前提になるところの基本計画の更新、2番目、3番目は今後の手続き等のお話であるが、ご質問いかがか？

関係事業者)

資料8 ページの都市計画決定で右側の概要欄 2番の歩行者専用道、これは自由通路のこととお伺いしたが歩行者専用というのは、自転車は通れるのか。

同ページの4番整備効果で、赤い矢印で歩行者優先となっている通りがあると思うが何かされる予定があるのか。

資料13 ページの都市計画道路の高田矢田線というのは、今後整備される予定があるのか、それともそこは整備されないものとして、駐輪場など検討されていくのか。

事務局)

資料8 ページの近鉄郡山駅歩行者専用道については、歩行者のみの通路となり、自転車等の通行しない考えで検討している。

同ページの4番整備効果のところにある歩行者優先だが、県道となるため、奈良県と協議しながら基本計画にある無電柱化等の整備をやっていただきたいということで、協議検討していく形で話している。

13 ページの高田矢田線だが、歩行者優先でということで、車両が通行できないような形をお願いしているが、道路管理者の方が奈良県の方になるため、引き続き協議していく形で検討している。

関係事業者)

高田矢田線は今の道路と場所が変わると思うが、ここも場所を変えて整備されていく方針ということか。

事務局)

そこまでの検討にはまだ至っていません。

会長)

高田矢田線（矢田筋）と呼ばれているところかと思うが、ここを広げてしまうと街並みも変わってしまうため、この辺りは都市計画のもう一つ個別の課題として将来的に本当にここをどんどん広げていっていわゆる JR の郡山駅までつなげていけるかどうかというところ。

今後の大きなこの中心市街地の中での検討課題としては残っているというふうに認識をしている。できたら今でもかなり歩道のないところに車もどんどん通っているので、この辺り観光客にとってもう少し歩きやすいような道にできないだろうかという点で歩行者優先化というところ、今はデザ

インとして、車がスピードを落とすような心理的な効果も含めてご検討いただいているということかと思う。

他いかがか。全体像の基本の方向性をご了承いただいたが、先ほどの自由通路に自転車が通れるかどうかというところと言うと、今のところはそこまで自転車を上げていくデザインになっていないと思うので、物理的にも今のところちょっと可能性は低いのかなと思う。

他いかがか。

学識経験者)

今回、基本計画の更新、地区計画等全体のご説明をお伺いした。まず、6 ページに事業効果 KPI というのがあって、コロナもあったのでなかなか今すぐこの数字評価できないということは承知しているが、例えばこれ地区内のイベント事業件数っていうのをどうしていこうということが課題かなと思う。というのは今、まちなか広場を作ることで市街地の活性化していこうということが全国でいろいろある。すごく有名なものだと富山だったりするが、ここは稼働率 100% と言っている、一年見ると 365 日必ず何かどこかでやっている状況、そういう意味で言うと、この数字が 365 億円以上の数字になるわけである。そういう役割を広場に持たせるのかどうか、というところ。

これは別に必ずしも広場でする必要もなく、周りの商店街さんや前の施設でやられるのであればそれも有り。ただ広場にそういう役割付与させるとなると、広場の作り方に大きく影響してくるし、運営するような観点も必要になってくると思う。運営する観点での設計ということも必要。

それから運営する人が紐づいたような、誰かが運営してくれないと広場が成り立たないので、そういうところも関わってくるかなと思いながら見ていた。イベント事業件数 365 件にせよというつもりはないが、どんな地域市街地の活性化の中で広場に何を期待するのかということ。そういう意味では周辺の周辺に街の回遊性を高めていくとか、それから滞在時間を延ばすとか、ウォーカブルな街にするとか、いよいよ具体的に考える段階に行ったかなと思っている。

もう 1 つは質問、4 ページの今回更新案っていうのでご説明いただいた駅前広場周辺の施設意匠検討と書かれているところ。今回ここが加わりましたとご説明いただいたかと思うが、これが 12 ページの駅前広場のデザイン検討とか設計に向けての調査検討、これに該当するってことでよろしいか。確認したいのは、微妙な言葉の言い回しだが、“駅周辺”と書かれているのと“駅前広場”というのは微妙に範囲が違うと思う。私自身はもちろん駅前広場のデザインの話はプロポーザルがあるというので聞いている。広場とは広場の平面図の境界の中だけでは成立しない。つまり、周りに建っている建物とか、そこから見える景色とか、それからそこを運営する主体とか。構造物管理の話も関わってくるので、どこまでどういう範囲でいう意味で言うと、駅周辺というイメージの方がよいかと思う。前半の方は駅周辺で書いていただいていたけれど、12 ページの方では周辺とかが見当たらずで、その辺、整合が取れているのかどうかを確認させていただきたいなと思う。

事務局)

まず、1 点目お話いただいた KPI ということで申しますとこの広場をどう日常的に使っていきたいかということも含めて、デザイン検討の実施をさせていただいてのいるため、事業者の案

などいろいろ聞いていきたいと考えている。

2点目の4ページのところは駅前広場周辺の施設意匠検討ということですが、今おっしゃっていただいた通りで、駅前広場だけでなくロータリーの関係であるとか、現在、日本アシスト様と検討を進めているアスモ建て替え等も踏まえまして総合的に検討していこうと考えている。

会長)

先生の最初のお話というのは、いわゆるエリアマネジメント的にその空間がせっかくきれいになるのだから、それをどのように活用してまち全体の賑わいにつなげていけるかっていう仕組み仕掛けが見えてきて、初めてデザインというのでも検討できる部分があるんじゃないかということかと思う。これは数年前にこれの前段で市民ワークショップもさせていただいた。その時に例えばその郡山高校のブラスバンド部の生徒さんも入っていただいて、こういう広場ができればブラスバンドとしてここで演奏したいですか？とか、そういう確認もしながら、いわゆる活動アクティビティも検討しながら今回持ってきてると思う。そういう意味では、先ほど先生ご指摘のようなこれができる後の活動みたいなものもぜひデザイン検討の中でやっていただきたいと思うし、逆に何がやれるか見えて初めて大きさや形が見えてくると思うので今後のデザイン検討でお示しいただきたい。ワークショップの中でも出ていたが、今ちょうど盆梅展の季節ですが、駅降りて盆梅展の雰囲気がない。城の中でやるわけですから、こういう盆梅展の季節には駅を降りたら盆梅展の雰囲気が醸し出されて、そこからメイン会場の方に流れていけるような、そういった工夫なんかがあれば。ここがアンテナショップ的な拠点となって様々なところへつながる拠点となればよい。さらに城下町の雰囲気も今の駅前もあまり駅前では感じられないので、どのようにデザイン、工夫でここが城下町の入り口なんだよということが可能になってくるかどうかである。平面的に機能をどう考えるだけじゃなく、周辺も含めて先ほどご指摘いただいたように立体的にデザインというふうな工夫をされるのかということをご検討いただければと思う。この対象外とはなりますが、近鉄さんも駅舎のデザインとして郡山らしいデザインをしていただくと広場とデッキにこの郡山らしい駅、あるいは駅前が出来上がってくると期待をしたい。そういうこと考えると、先ほど先生もう一つご指摘いただいた K P I もうちょっと頑張れる余地もあるのではないかな。もうちょっとまたフィードバックしながら受け止めいただければと思う。

他いかがか。

先ほどのエリアマネジメントという観点で言うと、先ほど先生が「イベントって誰がするのか？」っていうような主体の話があった。けれども、そういうことで言いましても、このメンバーが今後延長して、やはりエリアマネジメントの協議会的なつながりの中で、うまくこの駅前広場を使えるようなそんな仕組みみたいなもの、来年度以降考えさせていただいたらなと思う。観光協会がやっていただく部分もありますし、商工会議所がやっていただく部分もあったりする、また、商店街が商店街のイベントと連動しながら駅前広場を使っていただくということも可能かと思うし、近鉄様自らも行われたイベントのような仕掛けをしていただくということもあろうかと思うし、その辺りがうまく連携ができるような仕組みがハード以上に重要だと思う。また来年度以降ご検討いただければと思う。

他いかがか。よろしいか。

郡山の中心市街地にとっては玄関口が非常にきれいになっていくわけですので、ここをうまく

使いながらやはり全体の活性化を目指すような、こういう整備をぜひとも期待をして、色々ご尽力しながら進めていければと思っている。

先ほどの来年度のお話がメインでしたが、何かご質問ご意見は。

(ご質問・ご意見無し)

2. 次回会議

- ・第4回の委員会の開催は未定。

正式な開催案内は後日書面にてご案内させていただきます。

- ・次回委員会までに事務局と各関係者で個別協議を行い、意見を集約、整理していく。